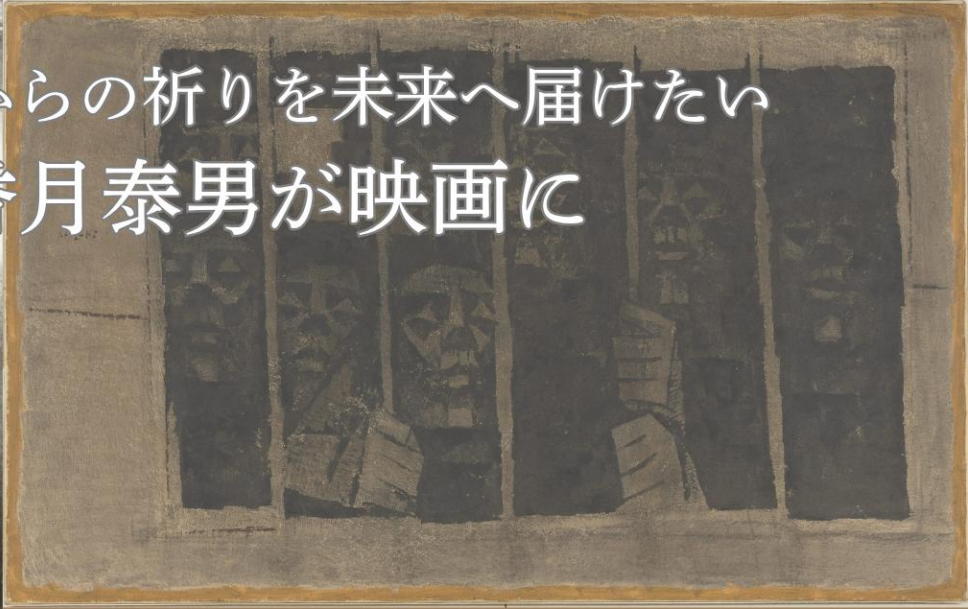


# シベリアの凍土からの祈りを未来へ届けたい 画家 香月泰男が映画に



シベリア・シリーズ「北へ西へ」 山口県立美術館所蔵

戦後80年・仙崎港引揚80周年特別企画

ドキュメンタリー映画  
「サンジュアンの木—画家香月泰男」制作プロジェクト

目標金額 **500**万円 2026年4月15日(水)～2026年6月13日(土)まで

## 映画「サンジュアンの木—画家 香月泰男」

「シベリア・シリーズ」の世界的洋画家、香月泰男が映画に。

※本プロジェクトはAll or Nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご支援は返金いたします。

山口県長門市に生まれた画家・香月泰男。その作品を一度でも目にした人は、絵に静かに宿る“体温”のようなものに驚かされます。

寒さや飢え、絶望を描いているはずなのに、どこかあたたかい。暗く沈む色調の中に、かすかな希望が光っている。その独特の表現はどこから生まれたのか——その答えは、香月が“生きて体験した”シベリア抑留の日々にあります。私たちは今、その香月泰男の人生と作品を映画という形で描き出そうとしています。これは香月が絵筆で示そうとした“心の物語”を映像として表現する挑戦です。

この映画は、戦争映画ではありません。私たちが描きたいのは—過酷な体験の中で一人の人間が何を思い、どう生き、なぜ希望を描くに至ったのかという、深い内面の旅です。

監督は「戦争がもたらすものを撮る」ことを信条に、数多くの映画を手掛けている五十嵐匠。この挑戦を実現するため、クラウドファンディングに挑戦することになりました。

皆さまのお力をお貸しください。凍える大地で見つけた“人間の光”を、未来へ届けるために。

※詳細、最新情報は公開後のプロジェクトページをご確認ください！

香月泰男 レディーフォー



READYFOR

<https://readyfor.jp/projects/kazukiyasuo>

お問い合わせ先 香月泰男映画制作実行委員会

EMAIL : [info@kazuki-movie.com](mailto:info@kazuki-movie.com) TEL : 0837-23-1541



# ご支援の方法

「香月泰男 レディーフォー」で検索。または表面のQRコードを読み込んでください。

1 プロジェクトの支援に進む  
をクリック



2 希望するコースにチェック  
を入れ、個数を選択



3 支払い方法を選び  
次に進むをクリック



4 はじめて利用する方は  
新規登録へ  
をクリック



5 情報を入力し  
メールアドレスで登録  
をクリック



6 支払い方法の情報を  
入力



- ★クレジットカードの場合  
→カード情報を入力
- ★銀行振込の場合  
→返金先の情報を入力



入力したメールアドレス宛にREADYFORからメールが届きます。  
受信したメールの本文内にあるURLをタップしてください。

7 リターンお届け先(住所)を入力し  
入力内容の確認画面へ  
をクリック



8 入力内容を最終確認し、  
支援を確定するをクリック



- 選択したコース、個数
  - 合計金額
  - 支払い方法
  - クレジットカード情報または口座情報
  - 住所
- を確認し、アンケートとメール配信について回答

手続き完了！



## ご支援の方法



WEBサイトからのご支援の方 以下サイトから、クレジットカード、コンビニ支払い または銀行振込でご支援ください

香月泰男 レディーフォー



<https://readyfor.jp/projects/kazukiyasuo>



## 申込書を利用してのご支援の方

下記の申込書にご記入の上、郵送にてご提出ください。メールの場合は、申込書にある情報をお書き添えください。  
その上で銀行口座にご支援金をお振込みください。  
※お振込みだけではご支援を正常に受理できません。必ず申込書もご提出ください。

### お申し込み先

香月泰男映画制作実行委員会  
〒759-4101  
山口県長門市東深川2366-11ながとてれば内  
メール：info@kazuki-movie.com

### 振込先

金融機関

山口県農業協同組合

支店名

深川支所

口座番号

普通 0195411

口座名義

香月泰男映画制作実行委員会 委員長 上田俊成

### コース一覧

カツキヤスオエイガセイサクジッコウインカイ インチョウ ウエダ トシゲ

1	5,000円	■オンライン映画視聴（映画完成後に視聴できるURLを送付／視聴期間はお知らせしてから2週間を予定）
2	10,000円	5,000円の内容に加えて、 ■五十嵐匠監督オンライントークイベントご招待 ■公式ウェブサイトへお名前掲載（サイズ小／希望制）
3	20,000円	10,000円の内容に加えて、 ■香月美術館オリジナルグッズ 一筆箋（台所壁画）
4	30,000円	20,000円の内容に加えて、 ■香月美術館オリジナルグッズ ピンバッチ（エッフェル塔） ※50個限定、3万円のリターンのみ
5	50,000円	20,000円の内容に加えて、 ■映画のエンドロールにお名前掲載（希望制） ■複製画（中）1枚
6	100,000円	50,000円の内容（複製画を除く）に加えて、 ■監督のサイン入り台本 ■複製画（大）1枚 ■香月美術館オリジナルバッグ「ふくろう」
7	200,000円	100,000円の内容（複製画を除く）に加えて、 ■公式ウェブサイトへお名前掲載（サイズ中／希望制） ■複製画（大・中）各1枚
8	500,000円	100,000円の内容（複製画を除く）に加えて、 ■公式ウェブサイトへお名前掲載（サイズ大／希望制） ■複製画（大・中）各2枚
9	1,000,000円	100,000円の内容（複製画を除く）に加えて、 ■自主上映会開催権（1回）■公式ウェブサイトへお名前掲載（サイズ特大／希望制） ■複製画（大・中）各4枚 ※外部への貸し出し上映は禁じます。映画完成後1年以内を有効期限とさせていただきます。
10	2,000,000円	1,000,000円の内容（複製画を除く）に加えて、 ■特別協賛として公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター等、作品に関するすべての媒体、エンドロールに社名もしくはロゴを別段に記載します ■公式ウェブサイトへお名前掲載（サイズ特大／希望制） ■複製画（大・中）各7枚

### 申込書

かな		ご支援 内容	番（	円コース）	口数
お名前					
住所	〒				
電話番号		メール アドレス			
公式ウェブサイトに掲載するお名前（該当のコースのみ） *ご希望でない場合は、「なし」とご記入ください					

### ご返金先

※万が一プロジェクトが不成立だった場合、下記口座にお振込みいただいたご支援をご返金いたします。  
不成立の場合でもご返金不要の場合は、空欄のままご提出ください。映画制作に大切に使用させていただきます。

金融機関		口座番号	
支店名		口座名義	

山口県長門市三隅に生まれた画家・香月泰男。  
第二次世界大戦後、シベリアに抑留され、マイ  
ナス40度の極寒の地で約2年間、飢えと過酷な  
労働を強いられました。

帰国後、彼はその壮絶な記憶を57点の油彩画  
「シベリア・シリーズ」として描き続けました。  
黒と黄土色を基調とした重厚な画面には、戦争  
の悲惨さだけでなく、家族への愛、帰郷への祈  
り、そして人間が持つ希望の光が静かに宿って  
います。



渚 (ナホトカ)  
山口県立美術館所蔵

その作品は今も多くの人々の心を揺さぶり続け  
ています。

1911年

医師の家に生まれた孤独な少年

1911年10月25日、山口県三隅村（現・長門市）の代々続く医師の家に生まれるも両親が離婚。複雑な家庭環境の中、友達と遊ぶより一人で絵を描くことを好む。

1927年

母から届いた絵具箱

中学時代、油絵を描きたいという夢を諦めきれず、離れて暮らす生母に手紙を書く。届いた絵具箱を、香月は生涯手放すことなく大切に続けた。

1934年

画家としての出発

東京美術学校（現・東京藝術大学）在学中、梅原龍三郎が主宰する国画会展に『雪降りの山陰風景』で初入選。1939年には文部省美術展覧会で特選を受賞し、画家としての道を歩み始める。

1943年

召集令状、そして満州へ

香月のもとに届いた一枚の赤紙。満州へ出征した香月は、家族へ361通もの軍事郵便を送り続けた。そのほとんどに絵が添えられていた。

1945年

シベリア抑留、-40度の記憶

終戦後、シベリアへ連行された香月は約2年間、極寒の収容所で強制労働に従事。仲間が次々と凍土に倒れるなか、母から届いた絵具箱を枕に眠り、絵のアイデアを12の漢字で箱の裏蓋に刻んだ。

1947年

帰還、そしてシベリア・シリーズ  
第1作

5月、ついに舞鶴港へ帰還。その年の秋、香月は早くもシベリア・シリーズ第1作となる《雨 (牛)》を描き上げる。凍える記憶を絵筆に託す、生涯をかけた創作の始まりであった。

1950年代

「厨房の画家」と呼ばれた日々

帰還後、香月が描いたのは台所の野菜や魚、庭の草花など身近な世界であった。故郷・三隅を「(私の)地球」と呼び、愛する家族と過ごす日常を、色彩豊かに画布へ刻み続けた。

1959年

黒と黄土色、シベリアへの回帰

50年代後半、香月のパレットから明るい色が消え、黒と黄土色が画面を覆うようになる。1959年、押し込めていた記憶があふれ出すように《北へ西へ》《ダモイ》など、シベリア・シリーズの本格的な制作が始った。

1969年

日本芸術大賞受賞

シベリア・シリーズにより、第1回日本芸術大賞を受賞。政治的なメッセージではなく、一人の人間が体験した普遍的な感情——家族への愛、望郷の念、鎮魂の祈り——が、多くの人々の心を揺さぶった。

1974年

「一瞬一生」  
最期まで描き続けた祈り

3月8日、心筋梗塞により62歳で逝去。アトリエには未完の《渚 (ナホトカ)》が遺されていた。  
生涯で57点のシベリア・シリーズを描き、「生きることは、私には絵を描くことではない」という言葉を残している。